

平成24年度

事業計画書  
収支予算書

# 2012年度 事業計画 (1)

## 第 44 回(2012 年度) 内藤記念科学振興賞候補者推薦要領

趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的領域において、進歩発展に顕著な功績のあった研究者に対してほう賞を授与するものである。																											
候補者資格	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究において、独創的テーマに取り組み、進歩発展に顕著な功績を挙げた研究者。</li> <li>2) 候補者は単独とするが、異なる研究グループによる共同研究の場合には、連名であっても良い。</li> <li>3) 候補者の再度の推薦は差支えない。</li> </ol>																											
推薦者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 下記 27 学会の代表者  <table border="0"> <tr> <td>高分子学会</td> <td>日本獣医学会</td> <td>日本農芸化学会</td> </tr> <tr> <td>日本遺伝学会</td> <td>日本植物生理学会</td> <td>日本発生生物学会</td> </tr> <tr> <td>日本ウイルス学会</td> <td>日本神経科学学会</td> <td>日本ビタミン学会</td> </tr> <tr> <td>日本栄養・食糧学会</td> <td>日本神経化学会</td> <td>日本病理学会</td> </tr> <tr> <td>日本解剖学会</td> <td>日本生化学会</td> <td>日本物理学会</td> </tr> <tr> <td>日本化学会</td> <td>日本生物工学会</td> <td>日本分子生物学会</td> </tr> <tr> <td>日本癌学会</td> <td>日本生物物理学会</td> <td>日本免疫学会</td> </tr> <tr> <td>日本細菌学会</td> <td>日本生理学会</td> <td>日本薬学会</td> </tr> <tr> <td>日本細胞生物学会</td> <td>日本動物学会</td> <td>日本薬理学会</td> </tr> </table> </li> <li>2) 当財団の理事、監事および評議員</li> </ol> <p>推薦件数は、1 推薦者につき 1 件</p>	高分子学会	日本獣医学会	日本農芸化学会	日本遺伝学会	日本植物生理学会	日本発生生物学会	日本ウイルス学会	日本神経科学学会	日本ビタミン学会	日本栄養・食糧学会	日本神経化学会	日本病理学会	日本解剖学会	日本生化学会	日本物理学会	日本化学会	日本生物工学会	日本分子生物学会	日本癌学会	日本生物物理学会	日本免疫学会	日本細菌学会	日本生理学会	日本薬学会	日本細胞生物学会	日本動物学会	日本薬理学会
高分子学会	日本獣医学会	日本農芸化学会																										
日本遺伝学会	日本植物生理学会	日本発生生物学会																										
日本ウイルス学会	日本神経科学学会	日本ビタミン学会																										
日本栄養・食糧学会	日本神経化学会	日本病理学会																										
日本解剖学会	日本生化学会	日本物理学会																										
日本化学会	日本生物工学会	日本分子生物学会																										
日本癌学会	日本生物物理学会	日本免疫学会																										
日本細菌学会	日本生理学会	日本薬学会																										
日本細胞生物学会	日本動物学会	日本薬理学会																										
推薦方法	当財団ホームページ「助成金事業」に記載の手順に従い推薦する。																											
締 切 日	2012 年 10 月 1 日 (月) 財団必着																											
選考方法	<p>選考委員会で審査し、理事会で決定する。</p> <p>採否の結果は、2013 年 2 月に候補者および推薦者に通知する。</p>																											
贈呈式・顕彰	<p>受賞者夫妻は 2013 年 3 月 19 日 (火) に行う贈呈式に出席いただきます。</p> <p>受賞者には内藤記念科学振興賞&lt;正賞：金メダル、副賞：1,000 万円&gt;を贈呈する。</p>																											
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学会推薦の場合は、学会の公印を捺印する。</li> <li>2) 当財団の理事、監事または評議員推薦の場合は、私印を捺印する。</li> </ol>																											

## 2012年度 事業計画 (2)

	第 44 回 内藤記念科学奨励金・研究助成	第 2 回 内藤記念科学奨励金・若手ステップアップ研究助成
趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に対し、研究費の一部を補助するものである。	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に携わる若手研究者に対し、科学奨励金（研究助成）を終了した研究テーマの中から、将来有望なものを選抜し、研究費の一部を継続的に補助するものである。
申 請 者 資 格	1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる若手研究者（年齢制限は無い） 2) 当財団の選考委員（ホームページ参照 URL <a href="http://www.naito-f.or.jp/">http://www.naito-f.or.jp/</a> ）と同一の教室（講座）に所属する者は申請することができない。 3) 本助成金を受領した3年未満の研究者（2009～2011年度を受領者）は、申請することができない。 4) 海外で行う研究は対象外とする。	1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる若手研究者であること。 2) 過去の科学奨励金（研究助成）の受領者であること。但し、2011年度内藤記念科学奨励金（研究助成）の採択者は対象外とする。 3) 1972年4月1日以降に出生の者（満40歳以下） 4) 科学奨励金（研究助成）申請時のテーマ、あるいはそれから派生したテーマに基づく申請であること。 5) 当財団の選考委員と同一の教室（講座）に所属する者であっても、申請することができる。 6) 海外で行う研究は対象外とする。 7) 内藤記念科学奨励金（研究助成）及び内藤記念女性研究者研究助成金と同時に申請することはできない。
推 薦 者	※ 財団ホームページの Q&A「推薦者の欄」を必ずご覧下さい。 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④大学病院：医学研究科長（又は医学部長） ①②③④以外の大学組織（研究センター、研究施設等）：学長 ただし、同一専攻の研究科（大学院）と学部（大学）の両方からは申請できない。どちらか一方の推薦者とする。 注）センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者 （※該当する研究機関には関連書類を送付しています） 3) 当財団の理事・監事及び評議員（ホームページ参照 URL <a href="http://www.naito-f.or.jp/">http://www.naito-f.or.jp/</a> ）	※ 財団ホームページの Q&A「推薦者の欄」を必ずご覧下さい。 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④大学病院：医学研究科長（又は医学部長） ①②③④以外の大学組織（研究センター、研究施設等）：学長 注）センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者 （※該当する研究機関には関連書類を送付しています） 3) 当財団の理事・監事及び評議員（ホームページ参照 URL <a href="http://www.naito-f.or.jp/">http://www.naito-f.or.jp/</a> ） 4) 科学奨励金（研究助成）採択時の推薦者と同一の推薦者である必要はない。
	推薦件数：1 推薦者につき 1 件	推薦件数：1 推薦者につき 複数の推薦可
申 請 方 法	推薦者が 1)、2) の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団 3) の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団 （※3）の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者、推薦者のどちらからでも良い） 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。	
締 切 日	2012年6月1日（金）（財団必着）	
選 考 方 法 採 択 件 数	選考委員会で審査し、理事会で決定する。  採択件数：100 件	第1回選考委員会での審査により面接対象者を選出し、面接対象者のみにメールで通知する。面接担当選考委員による面接選考会は、8月中旬から下旬に実施を予定し、面接対象者の中から助成対象者を選出する。理事会で最終決定する。  選考は以下のポイントから行う。 1. 当財団からの助成期間中、ならびに終了後の科学奨励金（研究助成）申請時のテーマ、あるいはそれから派生したテーマの研究進捗実績 2. 今後の3～4年間に研究をどのように発展させるかについての展望 3. 研究テーマの独創性について 4. 他の競合的研究資金の取得状況  採択件数：3 件以内
	採否の結果は、2012年10月に申請者および推薦者に通知する。	採否の結果は、2012年10月に申請者および推薦者に通知する。
助 成 額 送 金 時 期	300 万円 2012 年 12 月 総額 3 億円	助成金額は、3年間で総額 1,000 万円以内とする。 1 年目：2012 年 12 月 / 2 年目：2013 年 12 月 / 3 年目：2014 年 12 月 2012 年度支払総額 2,300 万円
報 告 の 義 務	1) 研究成果報告書及び使途報告書について：2014年9月末日までに所定用紙にて必ず報告する。 2) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。なお、別刷りを一部送付する。	1) 研究成果報告書及び使途報告書について：1年目 2014年9月末日、2年目 2015年9月末日、3年目 2016年9月末日までに所定用紙にて必ず報告する。 2) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。なお、別刷りを一部送付する。

### 申請に際しての留意点

- ・本申請研究の実施・成果発表に際しては、個人情報保護法（平成15年5月30日法律第57号）をはじめとする各種関連法規・ガイドラインを遵守する。
- ・申請書は採否にかかわらず一切返却しないものとする。
- ・当財団は、採択した案件に関する情報を財団機関誌・財団ホームページに掲載発表することができる。

申請内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しない。申請書に記入された個人情報の利用は、当財団の個人情報保護規程の利用目的の範囲内で行うものとする。

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団** 113-0033 東京都文京区本郷 3-42-6 NKD ビル 8階  
 TEL 03-3813-3005 FAX 03-3811-2917 URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail [joseikin@naito-f.or.jp](mailto:joseikin@naito-f.or.jp)

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&A はホームページ (<http://www.naito-f.or.jp/>) 内「助成金事業」に掲載しております。

# 2012年度 事業計画 (3)

	第 7 回 内藤記念女性研究者研究助成金	第 44 回 内藤記念海外学者招へい助成金	第 29 回 内藤記念海外研究留学助成金												
趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う女性研究者に対して、出産・育児によって研究が中断した際の研究現場への復帰と研究業績を挙げることを支援する目的で、研究に必要な費用を補助するものである。	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う外国の研究者を招へいする際の費用を補助するものである。	我が国の自然科学の将来を担う国際的視野に富む研究者を育成することを目的とし、人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行うために、若手研究者が海外の大学等研究機関に長期間留学する際の渡航費、留学に伴う経費ならびに研究費を補助するものである。												
申請者資格	1) 自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる一定以上の研究実績をあげた博士号を持つ研究者 2) 出産日から職場復帰（予定日）までが 60 ヶ月以内の女性研究者 ① 今後職場復帰する場合 復帰日と復帰場所が明確になっていること。 ② 応募以前に職場復帰している場合 出産日から助成金締切日までが 60 ヶ月以内であれば応募することができる。 3) 当財団以外から同期間（申請年度を含む助成期間（2012 年度～2014 年度））に同様（同類）の助成金を受けることはできない。 4) 当財団の選考委員（ホームページ参照 URL <a href="http://www.naito-f.or.jp/">http://www.naito-f.or.jp/</a> ）と同一の教室（講座）に所属する者は申請することができない。	1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者を招へいする際の当該学術集会（日本国内で開催される定例的な年会や季会）組織委員長（ただし当財団の理事・監事・評議員・選考委員は申請できない） 2) 同一年度の同一学術集会に招へいする場合の申請は 1 件とする。 3) 招へい時期が下記の期間内であること。 <table border="1" style="margin: 5px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">招へい時期</th> <th style="text-align: center;">申請区分</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2013 年 1 月 1 日～2013 年 6 月 30 日</td> <td style="text-align: center;">前期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2013 年 7 月 1 日～2013 年 12 月 31 日</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> </table> 4) 当財団の選考委員（ホームページ参照 URL <a href="http://www.naito-f.or.jp/">http://www.naito-f.or.jp/</a> ）と同一の教室（講座）に所属する者は申請することができない。	招へい時期	申請区分	2013 年 1 月 1 日～2013 年 6 月 30 日	前期	2013 年 7 月 1 日～2013 年 12 月 31 日	後期	1) 博士号を持つか、出発日までに取得見込みの研究者（出発日までに博士号取得見込みの大学院生は対象とする） 2) 学生として海外の大学・大学院への留学は対象外とする。 3) 1978 年 4 月 1 日以降に出生の者（満 34 歳以下） 4) 留学先研究機関の責任者または受入研究室の責任者の承諾を得ている者（受入先承諾書（サイン付）を添付する） 5) 2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日の間に出発し、1 年以上留学する者 留学先から一時帰国し、再度上記の期間に出発する者は対象にならない。 6) 当財団の選考委員（財団ホームページ参照 URL <a href="http://www.naito-f.or.jp/">http://www.naito-f.or.jp/</a> ）と同一の教室（講座）に所属する者は申請することができない。						
招へい時期	申請区分														
2013 年 1 月 1 日～2013 年 6 月 30 日	前期														
2013 年 7 月 1 日～2013 年 12 月 31 日	後期														
推 薦 者	<p style="text-align: center;"><b>※ 財団ホームページの Q&amp;A 「推薦者の欄」を必ずご覧下さい。</b></p> 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④大学病院：医学研究科長（又は医学部長）、①②③④以外の大学組織（研究センター、研究施設等）：学長 ただし、同一専攻の研究科（大学院）と学部（大学）の両方からは申請できない。どちらか一方の推薦者とする。 注）センター長、施設長、病院長は推薦者となることできない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者（※該当する研究機関には関連書類を送付しています） 3) 当財団の理事・監事及び評議員（ホームページ参照 URL <a href="http://www.naito-f.or.jp/">http://www.naito-f.or.jp/</a> ） 4) 当財団の指定した学会の代表者（※該当学会には関連書類を送付しています）														
申請方法	推薦者が 1)、2)、4) の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の順に従い申請する。	3) の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団（※3) の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者、推薦者のどちらからでも良い）													
締 切 日	2012 年 6 月 1 日（金）（財団必着）	前期：2012 年 6 月 1 日（金）、後期：2012 年 10 月 1 日（月） （いずれも財団必着）	2012 年 10 月 1 日（月）（財団必着）												
選 考 方 法 採 択 件 数	採択件数：20 件	採択件数：前期・後期各 10 件以内（予算範囲内）	採択件数：15 件以内												
助 成 額 送 金 時 期	200 万円/年の 3 年間。 ただし、3 年目の助成については 2 年目迄の研究結果を評価して継続の可否を決定するため、2 年目迄の研究結果報告書を 2014 年 9 月末日までに送付する。 1 年目：2013 年 1 月 / 2 年目：2014 年 1 月 / 3 年目：2015 年 3 月 2012 年度支払総額 7,500 万円	<table border="1" style="margin: 5px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">エリア</th> <th style="text-align: center;">助成額（万円）</th> </tr> <tr> <td>中東、アフリカ</td> <td style="text-align: center;">80</td> </tr> <tr> <td>米国・カナダ（西海岸除く）、ヨーロッパ、南米</td> <td style="text-align: center;">60</td> </tr> <tr> <td>米国・カナダ（西海岸）、オーストラリア、ニュージーランド</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td>東南アジア、インド</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td>中国、台湾、韓国</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> </table> 前期：2012 年 12 月、後期：2013 年 3 月 総額 1,000 万円	エリア	助成額（万円）	中東、アフリカ	80	米国・カナダ（西海岸除く）、ヨーロッパ、南米	60	米国・カナダ（西海岸）、オーストラリア、ニュージーランド	50	東南アジア、インド	30	中国、台湾、韓国	20	300 万円 2013 年 3 月 総額 4,500 万円
エリア	助成額（万円）														
中東、アフリカ	80														
米国・カナダ（西海岸除く）、ヨーロッパ、南米	60														
米国・カナダ（西海岸）、オーストラリア、ニュージーランド	50														
東南アジア、インド	30														
中国、台湾、韓国	20														
注 意 事 項	1) 出産日を証明する書類（母子手帳の写し又は出生証明書等）を添付する。 2) 旧姓を使用し、出生証明書と名前が異なる場合は同一人物であることを証明する書類を添付する。	1) 組織委員長及び招へい学者が明記されている書面（当該学術集会の開催趣意書（必須）及びプログラム・サーキュラー等）を申請書と共に必ず提出する。 2) 来日中止の場合について：招へい学者が来日中止の場合は助成を辞退していただきますので財団事務局へ必ず連絡下さい。	1) 受入先承諾書に必須記入項目（研究テーマ、留学受入年月日、留学期間、受入先責任者のサイン）が記載されていることを確認し、和訳を添付し提出する。 <b>※必須記入項目が一項目でも記載されていない場合は受付できません。</b> 2) 留学中止または「申請者資格 5)」に記載の期間内に出発できなくなった場合は、助成を辞退していただきますので財団事務局へ必ず連絡下さい。												
報 告 の 義 務	1) 研究成果報告書及び使途報告書について：2 年目 2014 年 9 月末日、3 年目 2015 年 9 月末日までに所定用紙にて必ず報告する。 2) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。 なお、別刷りを一部送付する。	1) スポンサーについて：当該学術集会で海外学者による招待講演が行われる場合は、プログラム等に当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。なお、プログラム等を一部送付する。 2) 学会成果報告書及び使途報告書について：組織委員長は招へい終了 1 ヶ月以内に所定用紙にて必ず報告する。	1) 消息について：留学先に到着および帰国時に、住所及び E-mail アドレス等を必ず報告する。また、留学先が途中で変更になる場合には、速やかに報告する。 2) 研究成果報告書及び使途報告書について：帰国後 1 ヶ月以内に所定用紙にて報告する。研究成果報告書の内容については、事前に留学先に外部公表の了解を得ておく。 3) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。なお、別刷りを一部送付する。												

# 2012年度 事業計画 (4)

第 12 回 内藤記念若手研究者海外派遣助成金																									
趣 旨	我が国の生命科学の将来を担う国際的視野に富む研究者を育成することを目的とし、人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う若手研究者が海外で行われる国際会議（学会・シンポジウム等）で、自己の成果を口頭発表する場合の渡航費を補助するものである。																								
申 請 者 資 格	1) 日本の大学、研究施設に籍をもつ研究者（大学院生を含む） 2) 1972年4月1日以降に出生の者（満40歳以下） 3) 日本国内で行った研究成果が海外で開催される国際学会やシンポジウムで口頭発表として採択された者 ポスター発表者は対象外とする。 なお、 ① 海外留学中または、海外で行った研究の発表には適応しない。 ② 年1回に限り申請することができる。 ③ 本助成金受領者は、隔年の申請はできるが次年度の申請はできない。																								
推 薦 者	<b>※ 財団ホームページの Q&amp;A 「推薦者の欄」を必ずご覧下さい。</b> 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④大学病院：医学研究科長（又は医学部長） ①②③④以外の大学組織（研究センター、研究施設等）：学長 ただし、同一専攻の研究科（大学院）と学部（大学）の両方からは申請できない。どちらか一方の推薦者とする。 注）センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者（※該当する研究機関には関連書類を送付しています） 3) 当財団の理事・監事及び評議員（ホームページ参照 URL <a href="http://www.naito-f.or.jp/">http://www.naito-f.or.jp/</a> ) <hr style="border: none; border-top: 1px dotted black;"/> 推薦件数：1 推薦者につき夏季・秋季・冬季・春季 各々1件																								
申 請 方 法	推薦者が 1)、2) の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団 3) の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団 (※3) の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者、推薦者のどちらからでも良い 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。																								
締 切 日	学会の開催月により、年4回の受付を行う。																								
選 考 方 法 数	・選考担当理事、選考委員長で構成される審査会（年4回、6・9・12・3月開催）で選考し決定する。 ・採択件数は、年間予算の範囲内。 ・採否の結果は、上記の時期に申請者および推薦者に通知する。																								
助 成 時 額 期	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">渡航先</th> <th style="width: 20%;">助成額（万円）</th> <th style="width: 20%;">助成区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中東・アフリカ</td> <td>40</td> <td>I</td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパ各国、トルコ、南米</td> <td>35</td> <td>II</td> </tr> <tr> <td>米国・カナダ（西海岸除く）、メキシコ</td> <td>30</td> <td>III</td> </tr> <tr> <td>米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド</td> <td>25</td> <td>IV</td> </tr> <tr> <td>東南アジア、インド</td> <td>20</td> <td>V</td> </tr> <tr> <td>東アジア（タイ、フィリピン、中国）</td> <td>15</td> <td>VI</td> </tr> <tr> <td>韓国、台湾</td> <td>10</td> <td>VII</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">出発時期を勘案し送金する 総額 1,000 万円</p>	渡航先	助成額（万円）	助成区分	中東・アフリカ	40	I	ヨーロッパ各国、トルコ、南米	35	II	米国・カナダ（西海岸除く）、メキシコ	30	III	米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド	25	IV	東南アジア、インド	20	V	東アジア（タイ、フィリピン、中国）	15	VI	韓国、台湾	10	VII
渡航先	助成額（万円）	助成区分																							
中東・アフリカ	40	I																							
ヨーロッパ各国、トルコ、南米	35	II																							
米国・カナダ（西海岸除く）、メキシコ	30	III																							
米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド	25	IV																							
東南アジア、インド	20	V																							
東アジア（タイ、フィリピン、中国）	15	VI																							
韓国、台湾	10	VII																							
注 意 事 項	1) プログラム、サーキュラー及び口頭発表採択証明を申請書と共に郵送する。 2) 口頭発表採択証明等添付資料も受付期間必着とする。																								
報 告 の 義 務	研究成果報告書及び使途報告書について：帰国後1ヶ月以内に口頭発表を行った学会の概要と助成金使途内訳について所定用紙にて必ず報告する。																								

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&Aはホームページ (<http://www.naito-f.or.jp/>) 内「助成金事業」に掲載しております。

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団** 113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 NKDビル8階

TEL 03-3813-3005 FAX 03-3811-2917 URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail [joseikin@naito-f.or.jp](mailto:joseikin@naito-f.or.jp)

# 2012年度 事業計画 (5)

## 第40回(2012年度)

### 内藤記念講演助成金申請要領

趣 旨	国際会議の開催において、自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議の開催に対し、費用を補助するものである。																						
申請者資格	<p>大学、研究機関に所属する者が主催する自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議(シンポジウム、講演会)の開催責任者            国際会議とは、参加者総数が50名以上で、かつ参加国が日本を含む2カ国以上を占める会議をいう。            なお、下記の申請者は対象外とする。</p> <p>① 国内で開催される学術集会の定例的な年会や季会            ② 当該年度に既に当財団が採択した助成金と同一のシンポジウム、講演会            当財団の理事・監事・評議員及び選考委員に対する推薦は基本的に行わない。但し、助成金を個人のために使用しないことが明白な場合にはこの限りではない。</p>																						
推薦者	<p>1) 当財団の理事・監事及び評議員 (自薦は対象としない)            2) 当財団の指定した学会の代表者 (※該当学会には関連書類を送付しています)            推薦件数：1推薦者につき年間1件</p>																						
申請方法	<p>推薦者が1)の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団            (財団への申請書類の送付は、申請者、推薦者のどちらからでも良い)            2)の場合：申請者 ⇒ 学会事務 ⇒ 財団            当財団ホームページ「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。</p>																						
締切日	<p>国際会議の開催月により、年4回の受付を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>申請区分</th> <th>国際会議開催月</th> <th>申請書受付期間 (期間中財団必着)</th> <th>採否通知</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>7月～9月</td> <td>4月2日～5月21日</td> <td>6月中旬</td> </tr> <tr> <td>秋季</td> <td>10月～12月</td> <td>5月22日～8月20日</td> <td>9月中旬</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>1月～3月</td> <td>8月21日～11月20日</td> <td>12月中旬</td> </tr> <tr> <td>春季</td> <td>4月～6月</td> <td>11月21日～2月20日</td> <td>3月上旬</td> </tr> </tbody> </table>			申請区分	国際会議開催月	申請書受付期間 (期間中財団必着)	採否通知	夏季	7月～9月	4月2日～5月21日	6月中旬	秋季	10月～12月	5月22日～8月20日	9月中旬	冬季	1月～3月	8月21日～11月20日	12月中旬	春季	4月～6月	11月21日～2月20日	3月上旬
申請区分	国際会議開催月	申請書受付期間 (期間中財団必着)	採否通知																				
夏季	7月～9月	4月2日～5月21日	6月中旬																				
秋季	10月～12月	5月22日～8月20日	9月中旬																				
冬季	1月～3月	8月21日～11月20日	12月中旬																				
春季	4月～6月	11月21日～2月20日	3月上旬																				
選考採択方法数	<p>常務理事、選考担当理事、選考委員長全ての承諾により採択する。            採択件数は、年間予算の範囲内            採否の結果は、上記の時期に申請者および推薦者に通知する。</p>																						
助成送金時期	<p>上限は1件50万円            当該国際会議の開催日を勘案し、送金する            総額700万円</p>																						
注意事項	<p>開催趣意書及びプログラム・アブストラクト等会議の概要が分かるものを各1部添付すること。            同一年度の同一学術集会への複数助成はしない。</p>																						
報告の義務	<p>1) 成果報告及び使途報告書について：助成対象の行事終了後1ヶ月以内に概要を所定用紙にて必ず報告する。            2) 外部発表について：当該学術集会のプログラム等に当財団(英文：The Naito Foundation)の助成によるものであることを明記する。</p>																						

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&Aはホームページ(<http://www.naito-f.or.jp/>)内「助成金事業」に掲載しております。

## 2012年度 事業計画 (6)

### 第41回(2012年度) 内藤記念特定研究助成金

趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的領域において、先導的なテーマに取り組む研究に対し、研究費の一部を補助するものである。			
コンファレンス名	第33回内藤コンファレンス	第34回内藤コンファレンス	第35回内藤コンファレンス	第36回内藤コンファレンス
テ ー マ	酸素生物学：酸素濃度に対する生物応答とその制御破綻による疾患	感染・炎症・免疫	ユビキチン-プロテアソームシステム ：メカニズムから病態まで	分子からみたエネルギーバランスと摂食行動の制御
開 催 日	2012年6月26日～6月29日	2012年10月16日～10月19日	2013年7月9日～7月12日	2013年9月10日～9月13日
開 催 場 所	シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ	シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ	シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ	シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ
申 請 者 資 格	当該コンファレンスに公募参加したポスター発表者		当該コンファレンスの組織委員 ただし財団の理事・監事・評議員・選考委員が組織委員に選任された場合は申請できない。	
選 考 方 法	組織委員会で審査し、理事会で決定する		理事会で決定する	
採 択 件 数 ( 助 成 金 総 額 )	10件 (総額 500万円)	10件 (総額 500万円)	5件 (総額 900万円)	5件 (総額 900万円)
助 成 金 の 期 送 金 時 期	2012年12月に送金する	2013年3月に送金する	2012年8月に送金する	2012年8月に送金する
報 告 の 義 務	<p>1) 研究成果報告書及び使途報告書について：2014年9月末日までに所定用紙にて必ず報告する。但し、採択者が大学院（大学）に在籍する学生で、2014年9月末日までに卒業する場合には、卒業時まで に所定用紙にて必ず報告する。</p> <p>2) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。 なお、別刷りを一部送付する。</p>			

第44期(2012年度)収支予算書(増減計算様式)

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科 目	2012年度 予算			備 考	2012年度公益目的事業内訳表		
	合計額	公益目的事業計	法人会計(管理費)		公1(助成講演)計	公2(資料収集)計	共通
<b>I 一般正味財産増減の部</b>							
<b>1. 経常増減の部</b>							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	650,070,000	520,056,000	130,014,000		0	0	520,056,000
基本財産受取利息	23,500,000	18,800,000	4,700,000		0	0	18,800,000
基本財産受取配当金	626,570,000	501,256,000	125,314,000	エーザイ株式の配当金(@150)	0	0	501,256,000
② 特定資産運用益	5,500,000	5,500,000	0		5,500,000	0	0
特定資産受取利息	2,500,000	2,500,000			2,500,000		
特定資産受取配当金	3,000,000	3,000,000		エーザイ株式の配当金(@150)	3,000,000		
③ 受取寄附金	0	0	0		0	0	0
受取寄附金	0	0					
④ 雑収益	1,610,000	0	1,610,000		0	0	0
受取利息	10,000	0	10,000				
受取配当金	1,600,000	0	1,600,000	E株・公社債投信 配当金			
雑収益	0	0		過年度助成金返金			
<b>経常収益計</b>	<b>657,180,000</b>	<b>525,556,000</b>	<b>131,624,000</b>		<b>5,500,000</b>	<b>0</b>	<b>520,056,000</b>
(2) 経常費用							
役員報酬	6,600,000	4,950,000	1,650,000		4,936,800	13,200	0
給料手当	30,000,000	20,000,000	10,000,000	人員増員(法人会計)	20,000,000	0	0
福利厚生費	250,000	100,000	150,000				100,000
会議費	800,000	0	800,000				0
旅費交通費	1,000,000	50,000	950,000				50,000
通信運搬費	1,800,000	1,000,000	800,000				1,000,000
減価償却費	250,000	200,000	50,000				200,000
消耗什器備品費	800,000	300,000	500,000				300,000
消耗品費	500,000	200,000	300,000		200,000		
修繕費	50,000	40,000	10,000				40,000
印刷製本費	3,500,000	0	3,500,000				
光熱水料費	600,000	480,000	120,000				480,000
賃借料	13,000,000	9,800,000	3,200,000				9,800,000
諸謝金	4,500,000	2,000,000	2,500,000		2,000,000		
支払褒賞金	10,500,000	10,500,000	0		10,500,000	0	0
科学振興賞事業費	10,500,000	10,500,000			10,500,000		
支払助成金	498,000,000	498,000,000	0	助成事業の拡充	498,000,000	0	0
科学奨励金事業費	300,000,000	300,000,000			300,000,000		
若手ステップアップ助成事業費	23,000,000	23,000,000		継続助成分増加	23,000,000		
特定研究助成事業費	28,000,000	28,000,000		開催回数減による採択数減少	28,000,000		
海外研究留学助成事業費	45,000,000	45,000,000		助成額@100→@300	45,000,000		
若手研究者海外派遣助成事業費	10,000,000	10,000,000			10,000,000		
海外学者招へい助成事業費	10,000,000	10,000,000			10,000,000		
女性研究者研究助成事業費	75,000,000	75,000,000		採択件数の拡大による増加	75,000,000		
講演助成事業費	7,000,000	7,000,000			7,000,000		
講演事業費	47,000,000	47,000,000		開催回数減による減額	47,000,000	0	0
講演事業費Ⅰ	46,000,000	46,000,000		当年度コンファレンス費用	46,000,000		
講演事業費Ⅱ	1,000,000	1,000,000		次年度以降コンファレンス準備費用	1,000,000		
資料収集展示費	4,000,000	4,000,000			0	4,000,000	
選考費	7,000,000	7,000,000			7,000,000		
贈呈式費	6,600,000	6,600,000			6,600,000		
図書購読料	150,000	0	150,000				
支払手数料	4,000,000	1,400,000	2,600,000		1,400,000		
支払寄附金	0	0					
雑費	1,000,000	250,000	750,000				250,000
費用計	82,400,000	54,370,000	28,030,000		42,136,800	13,200	12,220,000
<b>経常費用計</b>	<b>641,900,000</b>	<b>613,870,000</b>	<b>28,030,000</b>		<b>597,636,800</b>	<b>4,013,200</b>	<b>12,220,000</b>
評価損益等調整前当期経常増減	15,280,000	△ 88,314,000	103,594,000		△ 592,136,800	△ 4,013,200	507,836,000
基本財産評価損益等	0	0	0				
特定資産評価損益等	0	0	0				
投資有価証券評価損益等	0	0	0				
評価損益等計	0	0	0				
<b>当期経常増減額</b>	<b>15,280,000</b>	<b>△ 88,314,000</b>	<b>103,594,000</b>		<b>△ 592,136,800</b>	<b>△ 4,013,200</b>	<b>507,836,000</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>							
(1) 経常外収益							
経常外収益	0	0	0		0	0	0
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用							
什器備品除却損	0	0	0		0	0	0
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>他会計振替額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>15,280,000</b>	<b>△ 88,314,000</b>	<b>103,594,000</b>		<b>△ 592,136,800</b>	<b>△ 4,013,200</b>	<b>507,836,000</b>
一般正味財産期首残高	3,238,190,989			2011年度決算予測額			
一般正味財産期末残高	3,253,470,989						
<b>II 指定正味財産増減の部</b>							
基本財産運用益配当金	626,570,000	501,256,000	125,314,000		0	0	501,256,000
受取寄附金	60,000,000	60,000,000	0		60,000,000		
一般正味財産への振替額	626,570,000	501,256,000	125,314,000		490,700,000	4,000,000	6,556,000
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>60,000,000</b>	<b>60,000,000</b>	<b>0</b>		<b>60,000,000</b>		
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>13,072,896,957</b>			2011年度決算予測額			
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>13,132,896,957</b>						
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>16,386,367,946</b>						

事業 年度	自	平成 24 年 4 月 1 日	法人コード	A002520
	至	平成 25 年 3 月 31 日	法人名	公益財団法人内藤記念科学振興財団

### 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし	
事業番号	借入先	金額	使途
		円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載してください。

設備投資の予定		なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途
		円	